

---

電子入札システム  
初期設定マニュアル  
(発注者用)

インターネット利用団体向け

令和 7 年 10 月

---

---

## 目次

1. はじめに.....	1
1.1 初期設定の流れ.....	1
2. 事前準備.....	2
2.1 機器（パソコン、回線）等の準備.....	2
2.2 IC カード等の準備.....	2
2.3 IC カード等のセットアップ.....	2
2.4 許可 URL の登録.....	3
3. 初期設定.....	5
3.1 ブラウザ設定.....	5
3.1.1 Microsoft Edge（Chromium 版）の場合.....	5
3.1.2 Google Chrome の場合.....	9
3.2 フォント設定.....	13
3.2.1 設定メニューの表示.....	13
3.2.2 文字コードの設定（「設定」が表示される場合）.....	14
3.2.3 文字コードの設定（「プロパティ」が表示される場合）.....	16

---

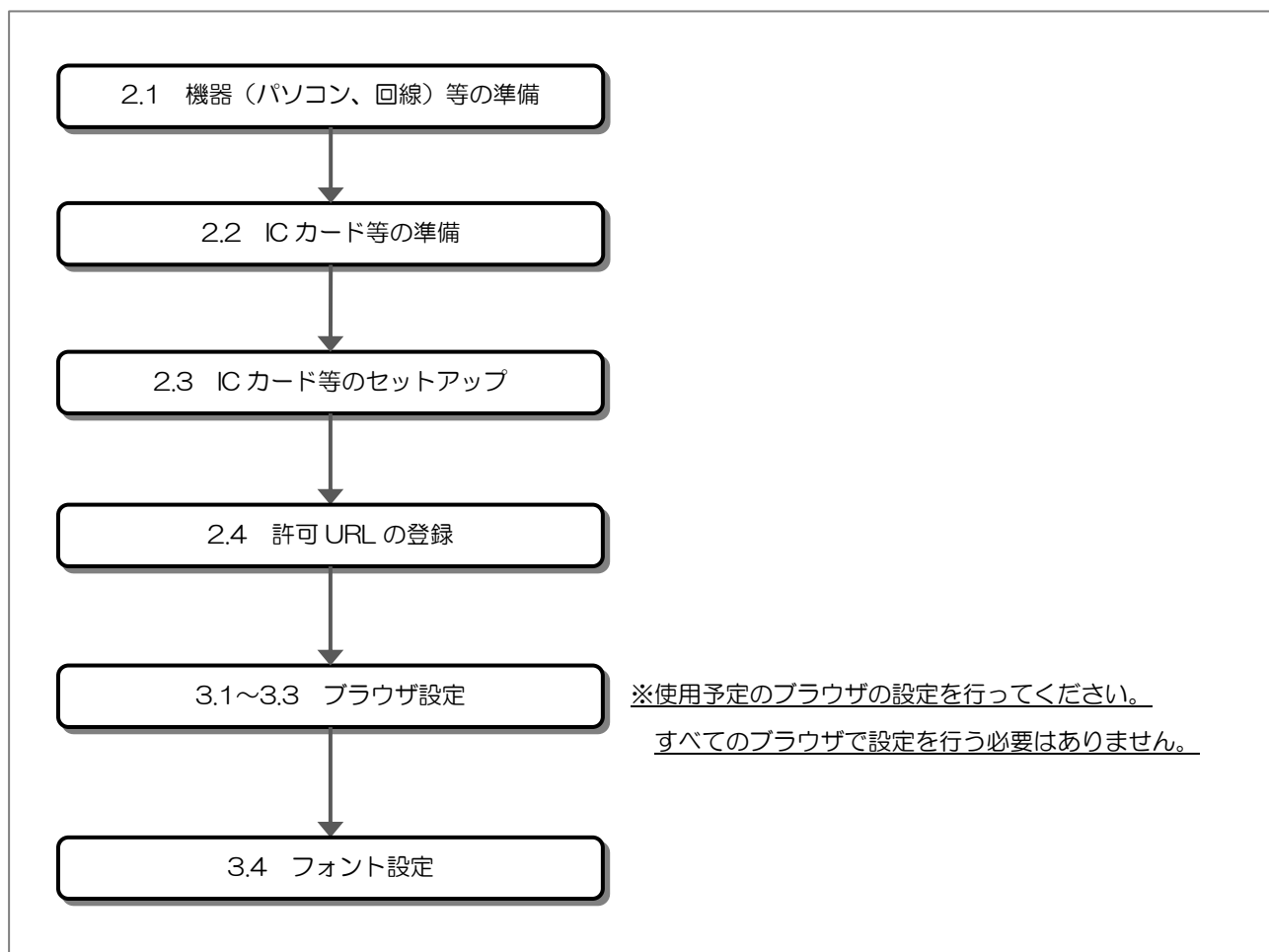
---

# 1. はじめに

---

本書は、IC カードを用いて電子入札システムを利用するクライアント端末の環境設定手順を記載したものです。また、IC カードの設定については認証局から提供されるマニュアルを参照して行って下さい。

## 1.1 初期設定の流れ



---

## 2. 事前準備

---

### 2.1 機器（パソコン、回線）等の準備

電子入札システムを利用するためには、推奨要件を満たしているパソコンやソフトウェア、回線が必要となります。推奨要件については、別途提供する概要説明資料を参照下さい。

### 2.2 IC カード等の準備

IC カードは以下の電子入札コアシステム対応の認証局よりご購入ください。IC カードのお申し込みから取得まではおよそ 2 週間～1 ヶ月ほどかかります。

【日本電子認証株式会社 GoSign（ゴーサイン）サービス】

<https://www.ninsho.co.jp/gosign/>

### 2.3 IC カード等のセットアップ

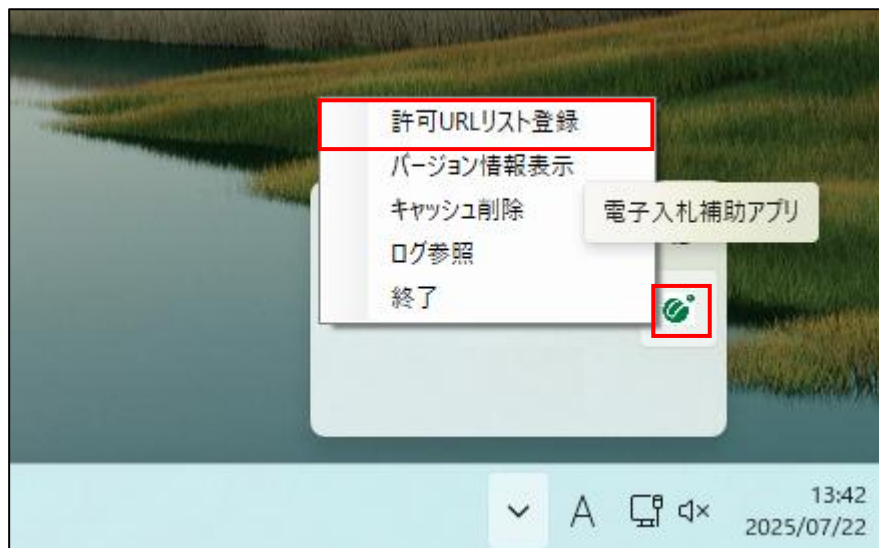
IC カード、IC カードリーダーが届きましたら、付属の設定マニュアルに沿って IC カードリーダー（ドライバのインストール）や電子入札補助アプリのセットアップを行って下さい。

セットアップに関するお問い合わせは、IC カードを購入した認証局までお願いします。

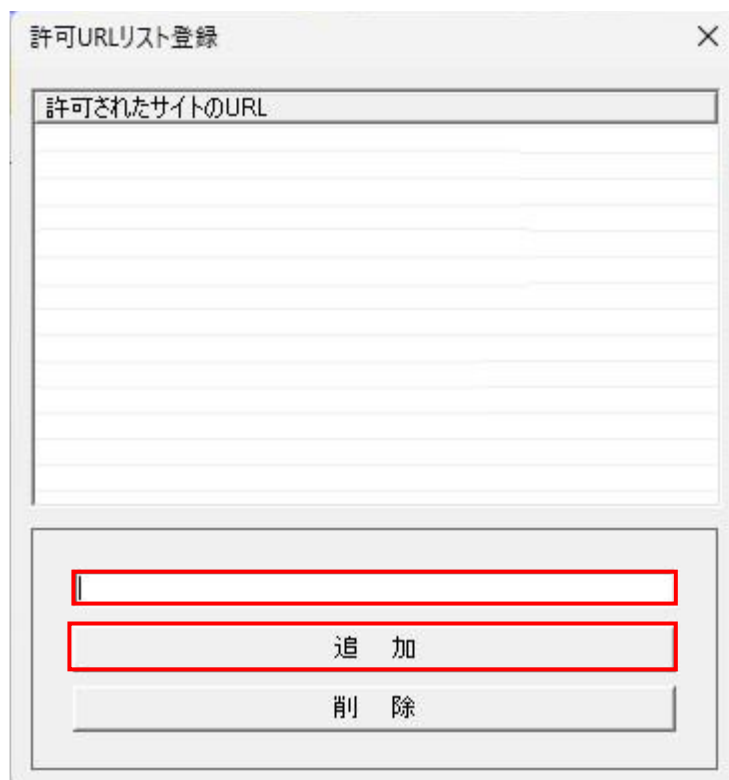
## 2.4 許可 URL の登録

IC カードリーダーのセットアップを行うと「電子入札補助アプリ」がインストールされ、タスクトレイに常駐します。「電子入札補助アプリ」に利用する電子入札システムの URL を登録することで、利用可能となります。

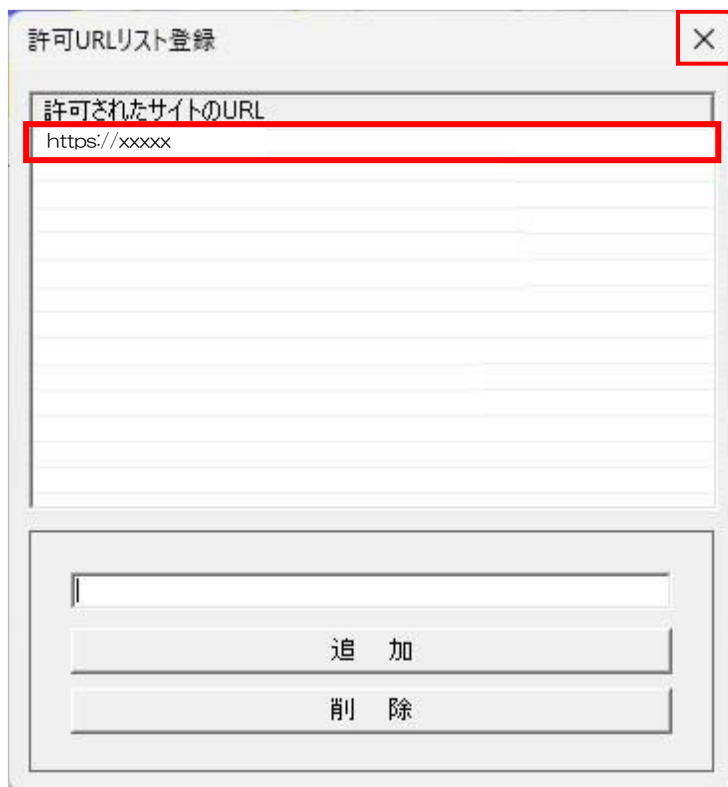
- (1) タスクトレイの「電子入札補助アプリ」を右クリックし、「許可 URL リスト登録」を選択します。



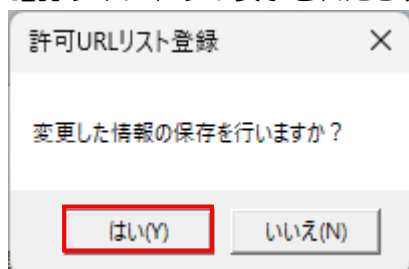
- (2) 入力欄には、別途提供するサービス URL 通知書に記載されているシステム URL①を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



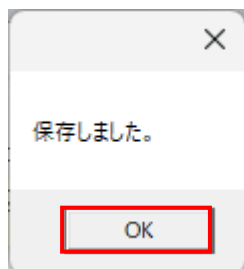
(3) 一覧に入力した内容が追加されていることを確認し、「×」を押します。



(4) 確認ウィンドウが表示されたら、「はい」を押します。



(5) 確認ウィンドウが表示されたら、「OK」を押します。



以上で許可 URL の登録は完了です。

---

## 3. 初期設定

---

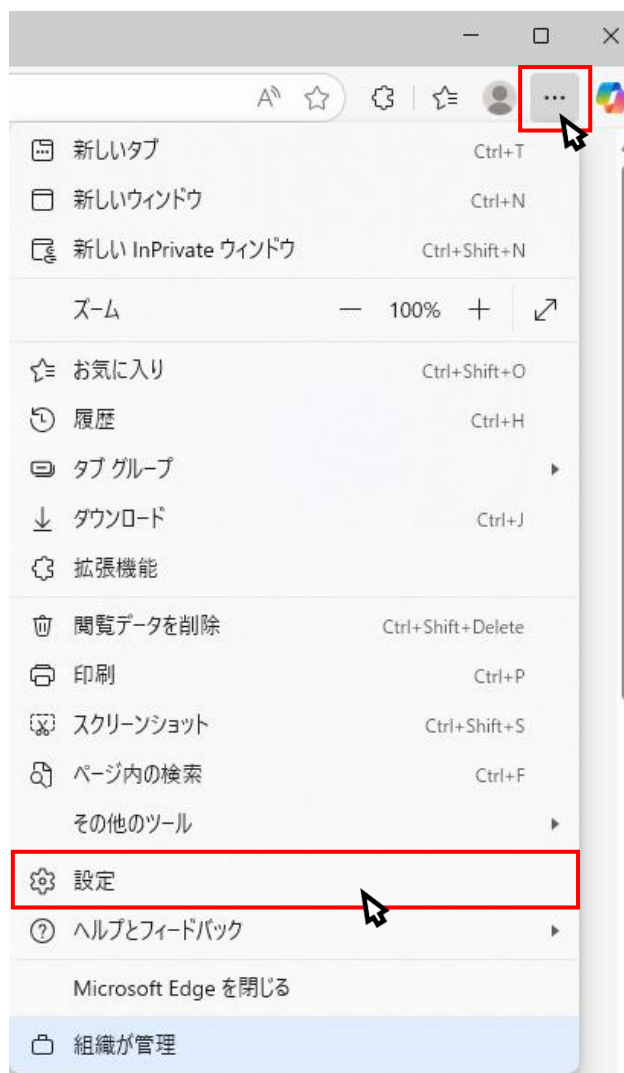
電子入札システムを利用するためには、ブラウザの設定を行う必要があります。  
設定内容はブラウザによって異なります。

### 3.1 ブラウザ設定

#### 3.1.1 Microsoft Edge (Chromium 版) の場合

##### ① ポップアップ許可の登録

(a) Microsoft Edge (Chromium 版)のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



(b) 画面左側のメニューの「プライバシー、検索、サービス」をクリックして、表示された画面の「サイトのアクセス許可」をクリックします。



(c) 「すべてのアクセス許可」をクリックします。





(d)「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



(e)「ポップアップの送信とリダイレクトの使用を許可しました」欄の右にある「サイトの追加」ボタンをクリックします。



※「ポップアップの送信とリダイレクトの使用は許可されていません」欄の「サイトの追加」ボタンをクリックしないよう注意してください。

(f) 別途提供するサービス URL 通知書に記載されているシステム URL①を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



(g) 入力した URL が「許可」欄に追加されていることを確認します。

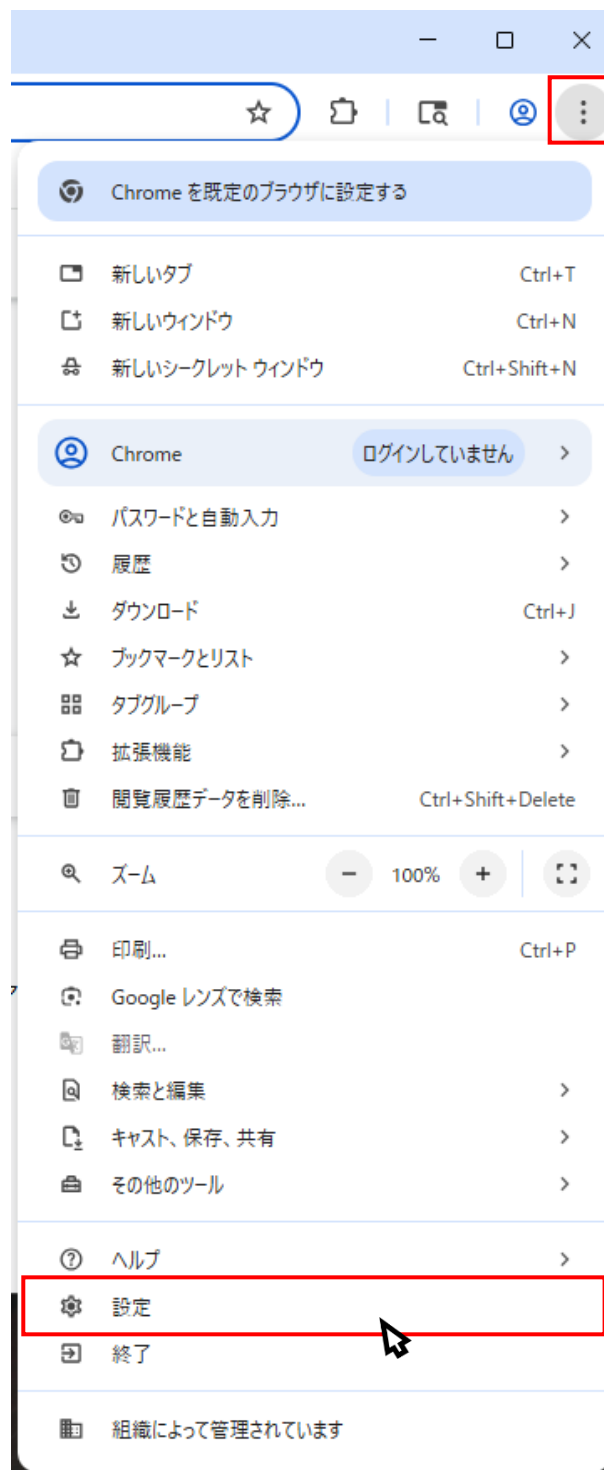


以上で、Microsoft Edge（Chromium 版）でのブラウザ設定は完了です。  
「3.2 フォント設定」へ進んでください。

### 3.1.2 Google Chrome の場合

#### ① ポップアップ許可の登録

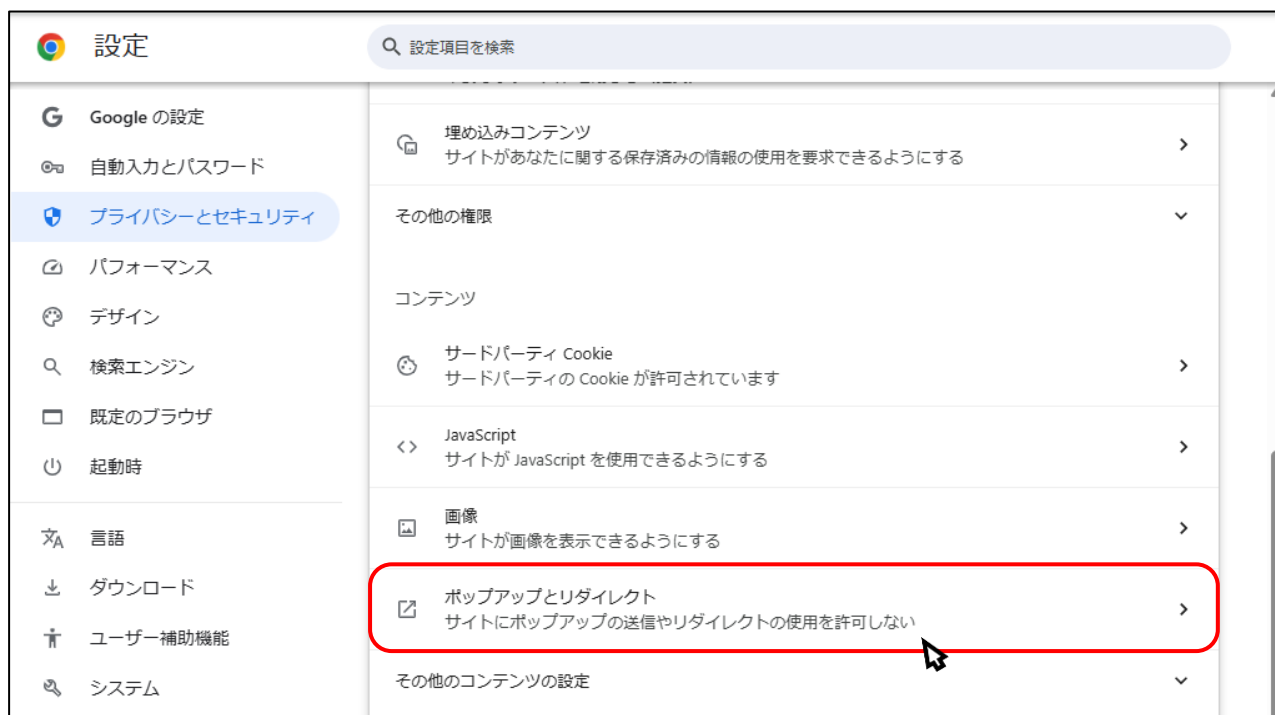
(a) Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



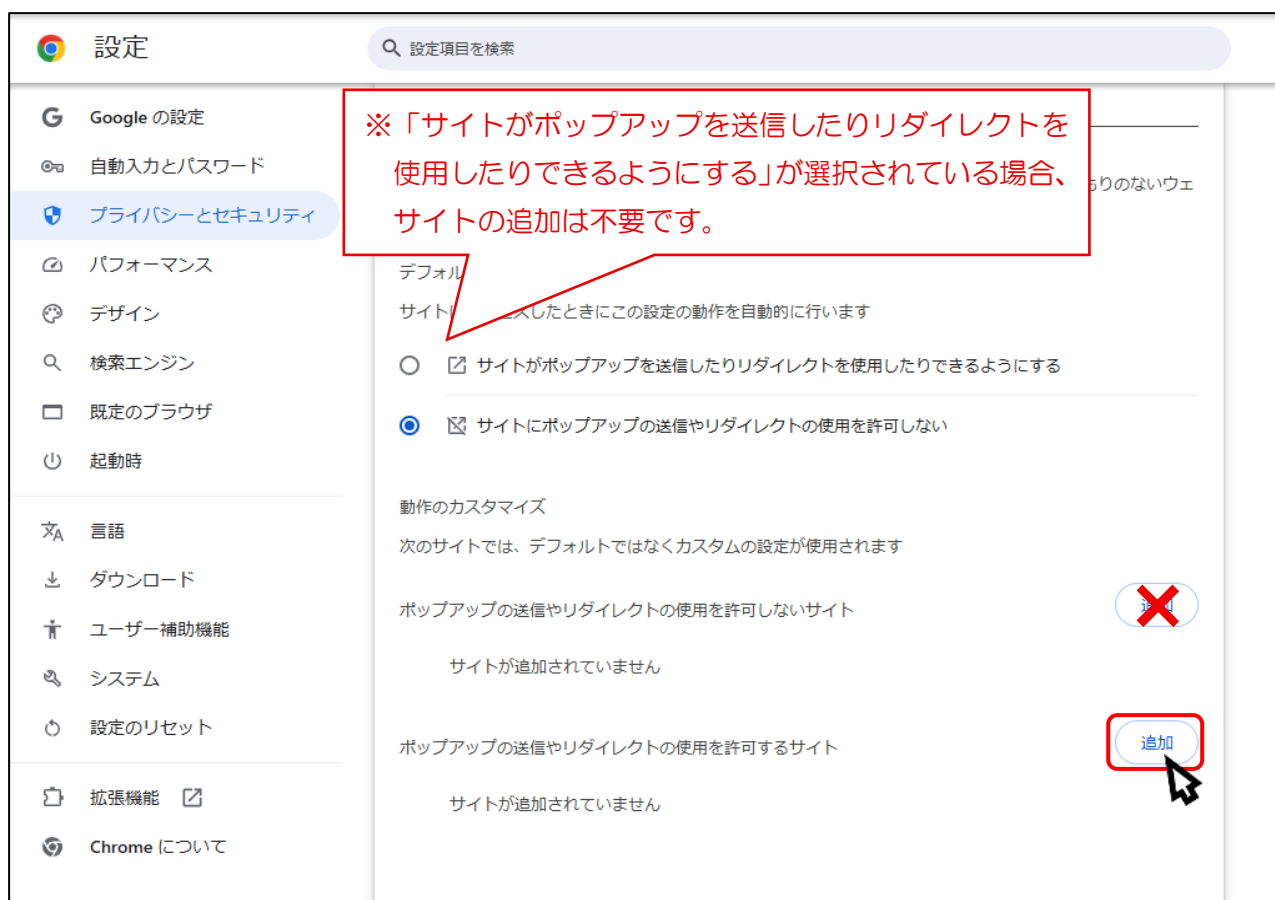
(b) 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「サイトの設定」をクリックします。



(c) 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



(d)「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の「追加」ボタンをクリックします。



※「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト」欄の「追加」ボタンをクリックしないよう注意してください。

(e) 別途提供するサービス URL 通知書に記載されているシステム URL①を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

サイトの追加

ウェブサイト

キャンセル 追加

(f) 入力した URL が「許可」欄に追加されていることを確認します。



以上で、Google Chrome でのブラウザ設定は完了です。

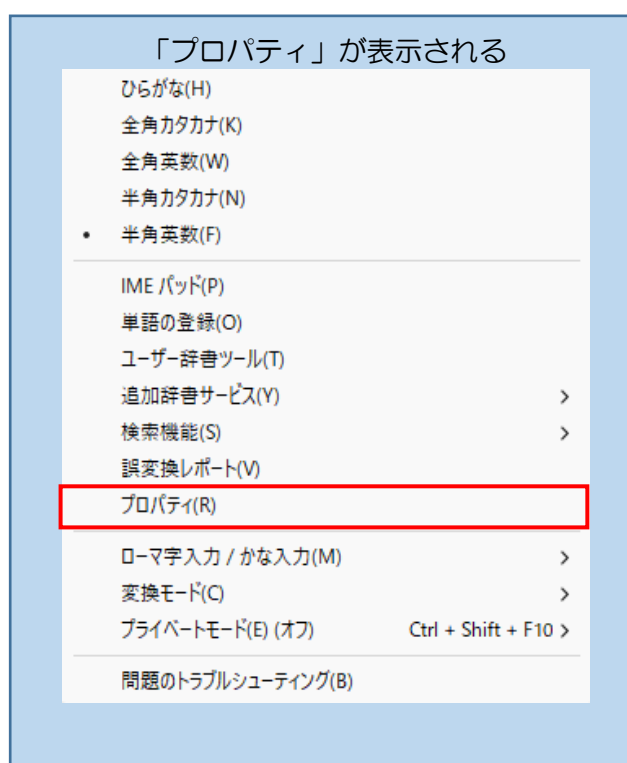
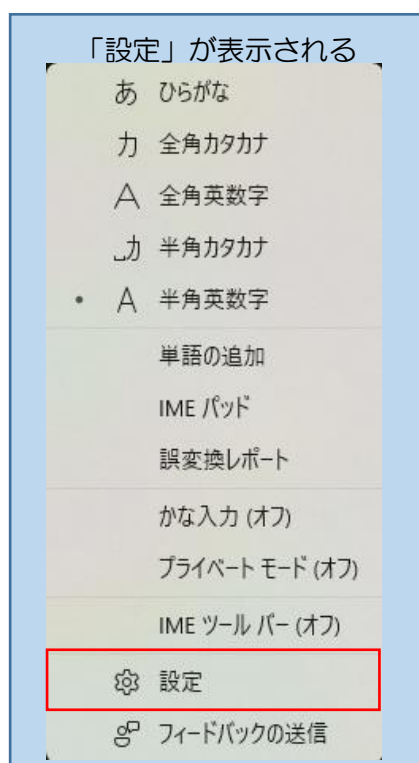
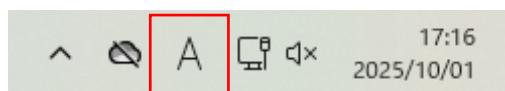
「3.2 フォント設定」へ進んでください。

## 3.2 フォント設定

本設定は、電子入札システムで利用できない”①”や”株”などの環境依存を入力できないようにする設定となります。業務において利用する端末で、環境依存文字の入力が必要な場合は、本設定の実施は必須ではありません。その場合は、電子入札システムに入力する文字やファイル名に環境依存文字を利用しないようにしてください。

### 3.2.1 設定メニューの表示

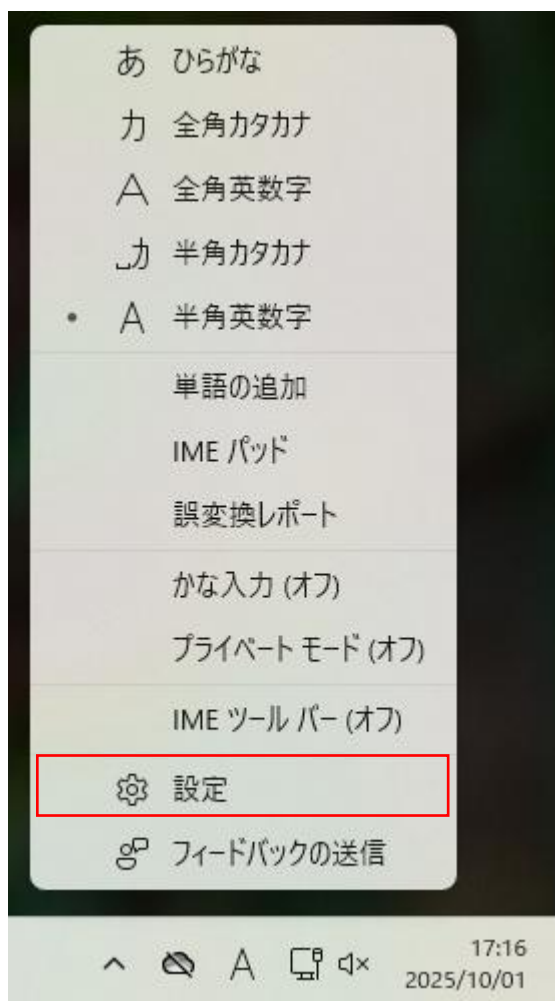
- ① タスクトレイのIMEのアイコン(「A」や「あ」)を右クリックします。



- メニューに「設定」が表示される場合  
⇒ 「3.2.2 文字コードの設定（「設定」が表示される場合）」の手順へ。
- メニューに「プロパティ」が表示される場合  
⇒ 「3.2.3 文字コードの設定（「プロパティ」が表示される場合）」の手順へ。

### 3.2.2 文字コードの設定（「設定」が表示される場合）

- ① 「設定」をクリックします。



- ② 「全般」をクリックします。





- ③ 画面を下にスクロールし、「変換候補の一覧に含める文字セットを選択する」設定を「JIS X 0208のみ」にチェックを付けます。

時刻と言語 > 言語と地域 > Microsoft IME > 全般

常に半角

### 文字の種類と文字セット

変換候補の一覧に含める文字の種類を選択する

- ☒ ひらがな
- ☒ 全角カタカナ
- ☐ 半角カタカナ
- ☐ ローマ字

変換候補の一覧に含める文字セットを選択する

- ☐ すべて
- ☐ IVS を除く
- ☐ サロゲート ペアを除く
- ☐ Shift JIS のみ
- ☒ JIS X 0208 のみ
- ☐ EUDC 文字の入力を許可する

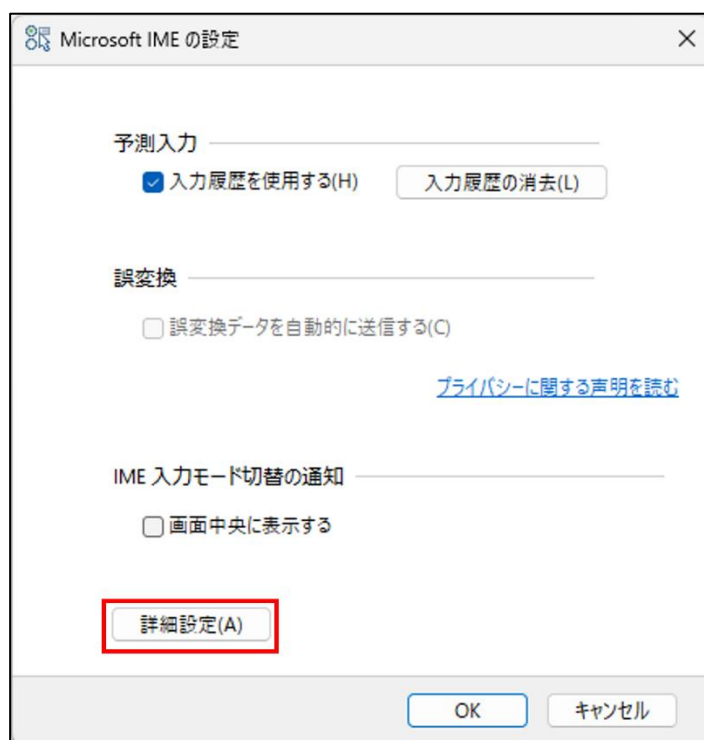
☐ 印刷標準字体のみ

### 3.2.3 文字コードの設定（「プロパティ」が表示される場合）

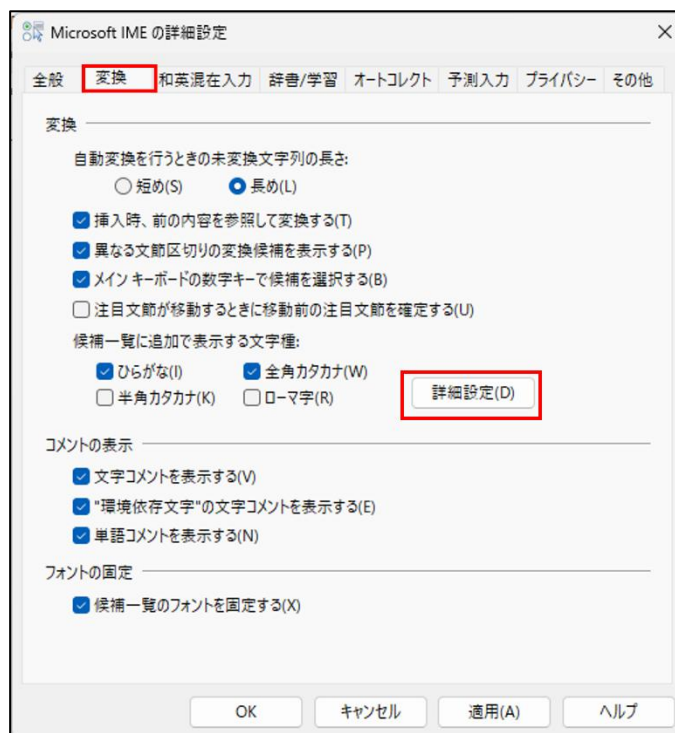
- ① 「プロパティ」をクリックします。



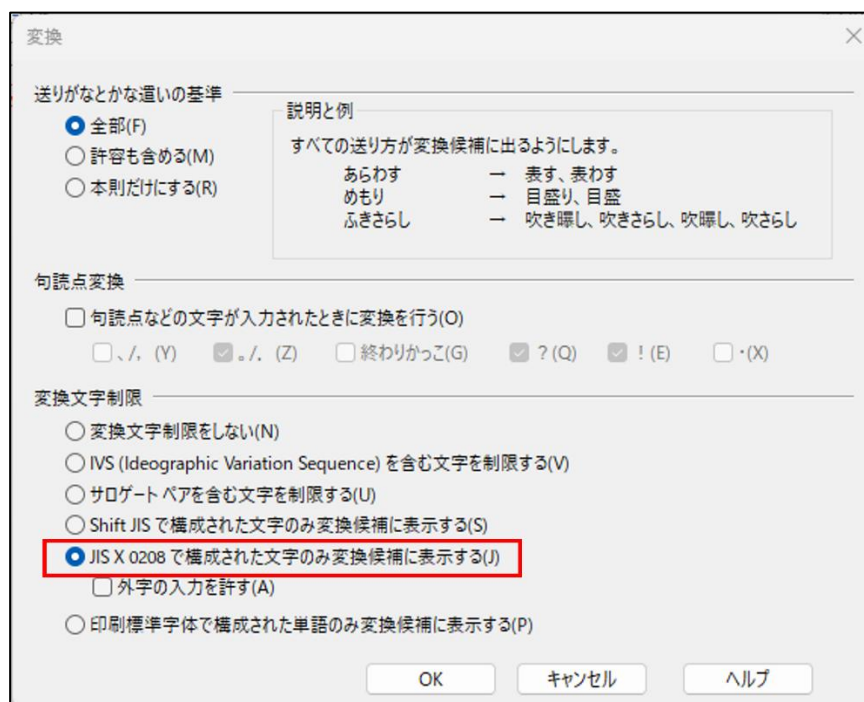
- ② 「詳細設定(A)」ボタンをクリックします。



③ 「変換」タブの「詳細設定(D)」ボタンをクリックします。



④ 「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する(J)」にチェックを入れます。



以上で、使用するフォントの設定は完了です。

以上で、電子入札システムの初期設定操作は完了です。

---

【メモ】